

(様式3)

令和元年度 福井型コミュニティ・スクール 実施報告書

勝山市立鹿谷小学校

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成 (2) 協議会の内容

* 区長会長	* PTA 会長
* 町づくり協議会長 主任児童委員 補導委員理事	* PTA 副会長 (2名)
* 公民館長 児童センター厚生員 保育園長 学識経験者 (8名)	校長 教頭 教務 (3名)
* は、地域コーディネーター	

第1回	5 / 29
・ スクールプランについて ・ 教育活動の概要と行事 ・ 教育課題の把握	
第2回	11 / 27
・ 5月以降の行事の報告 ・ 学校評価について	
第3回	3 / 6
・ 後期教育活動の報告 ・ 学校評価の結果と課題把握	

(3) 協議会における成果と課題

子供たちの学校外での姿をそれぞれの立場で見させていただき、協議会で教えてください。学校とはまた違う姿がわかり、興味深い。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

地域に根ざした体験活動を通じて、ふるさとの良さを再発見し、自分の住んでいる地域を誇りに思う児童を育てる。また、地域の自然や文化に愛着をもって進んで活動に取り組み、課題を解決する力とよりよく生きようとする態度を育てる。さらに、学習したことを壁新聞にまとめ掲示したり、発表会をしたりして、地域に発信をする。

(2) 活動の実際

① 鹿谷町の環境保全活動 I (セイタカアワダチソウの駆除活動 1～6年生)

外来種であるセイタカアワダチソウの駆除活動を全校児童の手で行い、故郷の自然を守る活動に取り組んだ。事前に5年生が調査をした場所を縦割り班で駆除活動をした。また、蛍や赤とんぼなど自然豊かな鹿谷町の魅力を探すとともに、それらを守るための学習を進めるなど活動を行った。



② 恐竜ひょうたんづくり(5年生)

5年生は地域の特産物としての「鹿谷恐竜ひょうたん」づくりに取り組み、地域の方に指導を受けながら、栽培から絵付けまで行い、「鹿谷恐竜ひょうたん」を内外に広くアピールすることができた。また、恐竜ひょうたんを広めるために、5年生が他学年の児童に、種まきから苗作りまでを学校で指導した。



(3) 地域コーディネーターの活動概要

それぞれの活動において、活動における準備や指導、ボランティアなどの関係者への橋渡し役を引き受けてくださった。例えば 米作りの活動において、田植えの仕方などの指導をしていただくとともに、田植えの準備や収穫後の乾燥・うすすり等の協力をいただいた。また、ひょうたん作りにおいても種まきから収穫・絵付けまでその都度指導をいただきながら活動を進めた。



(4) 特に工夫した事項

- ・ふるさと鹿谷町の良いところをさまざまな活動を通して、見つけるとともに、多くの人と交流を持ちながら活動を進めた。
- ・子供たちの活動を随時学校のブログに取り上げ、その様子を紹介した。また、公民館だよりでも子供たちの活動の様子を取り上げてもらい、広く広報をすることに努めた。

(5) 成果と課題

地域と進める体験活動が2年目ということもあり、地域との連携をさらに深めることができた。また、それぞれの学習もより深めることができ、充実した活動を行うことができた。本年度も学校評価で、体験活動を楽しんでいる児童が100%であり、保護者からも学校・地域・保護者との連携について高い評価を得ることができた。

子供たちは活動したことを新聞にまとめたり、発表会で相手にわかりやすく伝えるよう発表を工夫したり、学習したことを生かすことができた。

次年度はまとめの3年目になる。今までの活動をより工夫し充実させるとともに、この体験活動の事業が終わったあとも無理なく活動が進められるようカリキュラムへの位置づけをしっかりと行っていきたい。